1 日常点検 2～3日ごとに点検してください。

点検項目	方　法	点検内容
負荷電流	電流計	銘板記載の定格電流以内であること
騒音	聴感	異常音（ガタゴト音、周期音）がないこと
	聴音棒	軸受部聴音棒を使用すると異常音がわかり易い
振動	触感	ギアケース、モータフレームの異常振動がないこと
表面温度	温度計	80℃以下のこと
グリース漏れ	目視	ケース、オイルシール、ブラケット等の接合部から漏れていないこと

2 定期点検（8時間／日運転を想定します）

点検項目		点検目安	点検内容
据え付けボルト		半　年	スパナでゆるみ確認　ゆるみは増し締め
チェーン及びVベルト		半　年	張り具合（ゆるみ、張りすぎ）の確認 ゆるみ、張りすぎは調整してください
モータの絶縁抵抗		半　年	絶縁抵抗器で500Vの時1MΩ以上のこと
ブレーキ	ギャップ量	1年または ブレーキ使用回数 100～150万回	適正ギャップ範囲か確認（P21参照） 調整はP20～21を参照して行ってください
	摩擦板の厚さ	1　年	摩擦板の厚さを確認 1.5mm以下の時は交換又は専門工場で修理してください

点検にて異常が認められた場合は、「故障の原因と対策」P22～23を参照して対策処置を行ってください。

3 ブレーキギャップの調整方法

⚠ 危 険

1　ギャップ調整時は、必ず電源を切って行ってください。けがの恐れがあります。また、キクナットを外してしまった場合、取付方向に御注意願います。誤った方向で取付致しますと破損の恐れがあります。正しい方向につきましてはP21　■キクナット取付方向を御参照ください。
2　ギャップの点検、調整後は、本運転する前に電源を入、切してブレーキの動作を確認してください。落下、暴走事故のおそれがあります。
3　点検、調整後は、ファンカバーを外したままモータを運転しないでください。巻き込まれ、けがのおそれがあります。

ブレーキ付ギアモータのブレーキギャップの調整方法

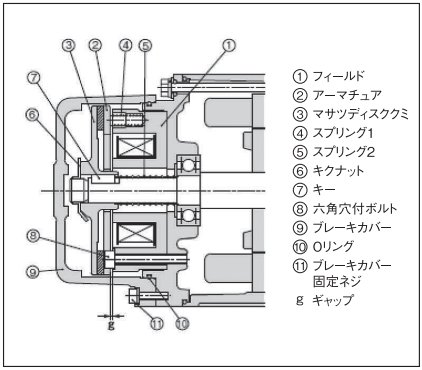
ブレーキを長時間使用いたしますと、摩擦板が摩耗しギャップ〔ｇ〕が徐々に大きくなります。ギャップ〔ｇ〕が吸引可能ギャップより広がりますと、マグネットを励磁してもアーマチュアの吸引が困難となりブレーキのブレーキの解放ができなくなります。

その後も使用し続けますと、ブレーキが効いたままモータを回すことになりますので、ブレーキやモータの異常発熱を起こしブレーキモータの機能を低下させます。本機を安全に使用していただくために定期的（約1年毎又はブレーキ使用回数100～150万回毎）にギャップの点検又は調整を行ってください。

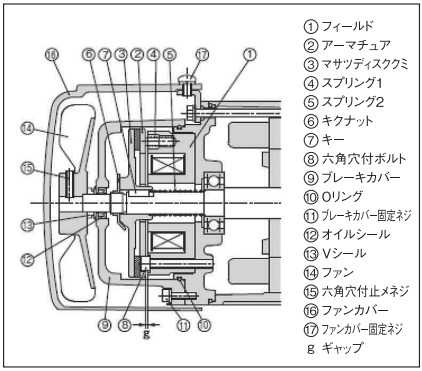
防水・屋外ブレーキ付ギアモータ　0.1kW～0.75kW

ブレーキ構造

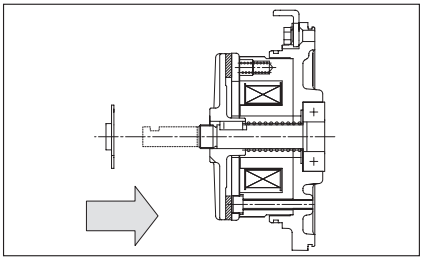
0.1kW　アウターディスクタイプ



0.2kW～0.75kW　ファン付タイプ



■キクナット取付方向



ギャップの調整方法

1）ファンカバーを取りはずします（0.2～0.75kW）

2）六角穴付止メネジをゆるめ、ファン、Vシールをはずします（0.2～0.75kW）

3）ブレーキカバーをはずします。
ブレーキカバー固定ネジの隣のメネジにM5のボルトをねじ込めば、ブレーキカバーが浮き上がり、作業が容易にできます。また、ブレーキカバー内部およびアーマチュア付近の摩擦板粉をエアーブローなどで取り除いてください。

4）キクナットの歯をマサツディスククミの溝より起こします。

5）キクナットを軽くロックするまで締め込みます。

6）次にゆるめる方向に100°～180°位もどします。このときキクナットを外してしまった場合、取付方向に御注意願います。（下図キクナット取付方向参照）ギャップ量が適正ギャップであることをスキミゲージなどで確認します。

7）マサツディスククミの溝に一番近いキクナットの歯を折りまげます。

8）ブレーキカバーのOリング、オイルシールに傷がついていないかを確認して（傷がついていたら交換してください）ください。またオイルシール部にグリースが封入されていることを確認して（少ない場合ウレア系グリースを封入してください）組付けてください。
（オイルシールは0.2～0.75kWに適用）

9）Vシールのリップ部に傷がついてないかを確認して（傷がついていたら交換してください）ください。またリップ部内側にグリースが塗布されていることを確認して（少ない場合ウレア系グリースを塗布してください。）かつ、リップ部がブレーキカバー側に向く様に組付けてください。
（0.2～0.75kW）

10）六角穴付止メネジでファンを組付けてください。
（0.2～0.75kW）

11）ファンカバーを組付けてください。（0.2～0.75kW）

■ブレーキのギャップ

モーター容量呼称 三相	吸引可能ギャップ	適正ギャップ
T010・T010W	g：0.8以下	g：0.3±0.1
T020・T040・T020W・T040W	g：0.7以下	g：0.3±0.1
075・075W	g：0.9以下	g：0.3±0.1